
AI×ASMが生んだ「次世代Webセキュリティ」の考え方

継続的かつ統合的な

探索

診断

監視

を実現する方法とは

登壇者紹介



株式会社エーアイセキュリティラボ

CX本部 マネージャー **笹森 俊樹**

外資医療機器メーカー・国内製薬メーカーにて営業責任者、医療向け経営支援企業にて経営コンサルタントを務めた後、IT業界に転身。
株式会社SHIFTにて、海外拠点でのPM業務を含む多様なシステム開発案件を経験し、SaaS企業でのカスタマーサクセスマネージャーを経て、エーアイセキュリティラボに入社。現在はAeyeScan導入前後のお客様に向けたコンサルティングに従事。

あらたな答えを、つぎつぎと。

変化の激しいサイバーセキュリティの世界。

私たちは、未知の課題が生まれるたび、培った知見と経験・実績をもとに、「あらたな答え」を世の中に提供し続けていきます。

世界も驚くような、技術の力で。

そして、サイバーセキュリティの進化を通して、人は、人にしかできない、創造性を活かした仕事に注力できる、社会の進化にも貢献していきます。



**すべてのWeb資産が攻撃対象になる一方で
全容を把握しきれていますか？**

そもそも、Web資産の把握は難しい

Phase 1



情報のデジタル化

<主なリスク>

- 人的リスク(漏洩・持出)
- ストレージの安全性
- 不適切な認証・権限設定

情シス・セキュリティ部門が認識しやすい
社内ITを中心とした「静的」IT資産がほとんど

Phase 2



業務のデジタル化

<主なリスク>

- クラウド環境の設定不備
- ネットワークへの攻撃
- 不完全なエンドポイント管理

Phase 3



事業のデジタル化

<主なリスク>

- 頻繁なサービスアップデート
- 潜在的なデジタル領域の攻撃面
- サプライチェーンの拡大

どこで何をやってるか
分からない…!

仮に把握できても、網羅的に診断するのは難しい

予算が限られている

人員も限られている



対策すべき範囲 **増**

必要な対策の幅 **増**

すべての資産に同レベルの対策を実施することはできない

だから「優先順位づけ」が欠かせない

優先度

高



低

時間・コストをかけて **診断** する

脆弱性がないかどうか
詳細に検査しリスクを特定

低コストで広範囲を **監視** する

状態の変化やリスクの兆候を
継続的にチェック・再評価

何を重点的に診断し、何を監視対象にするか



貴社のWeb資産、
いくつの“顔”を持っていますか？

Web資産は、いろいろな「顔」を持っている

本番サイト (www)

API (api.~)

管理画面 (admin.~)

検証環境 (staging / dev)

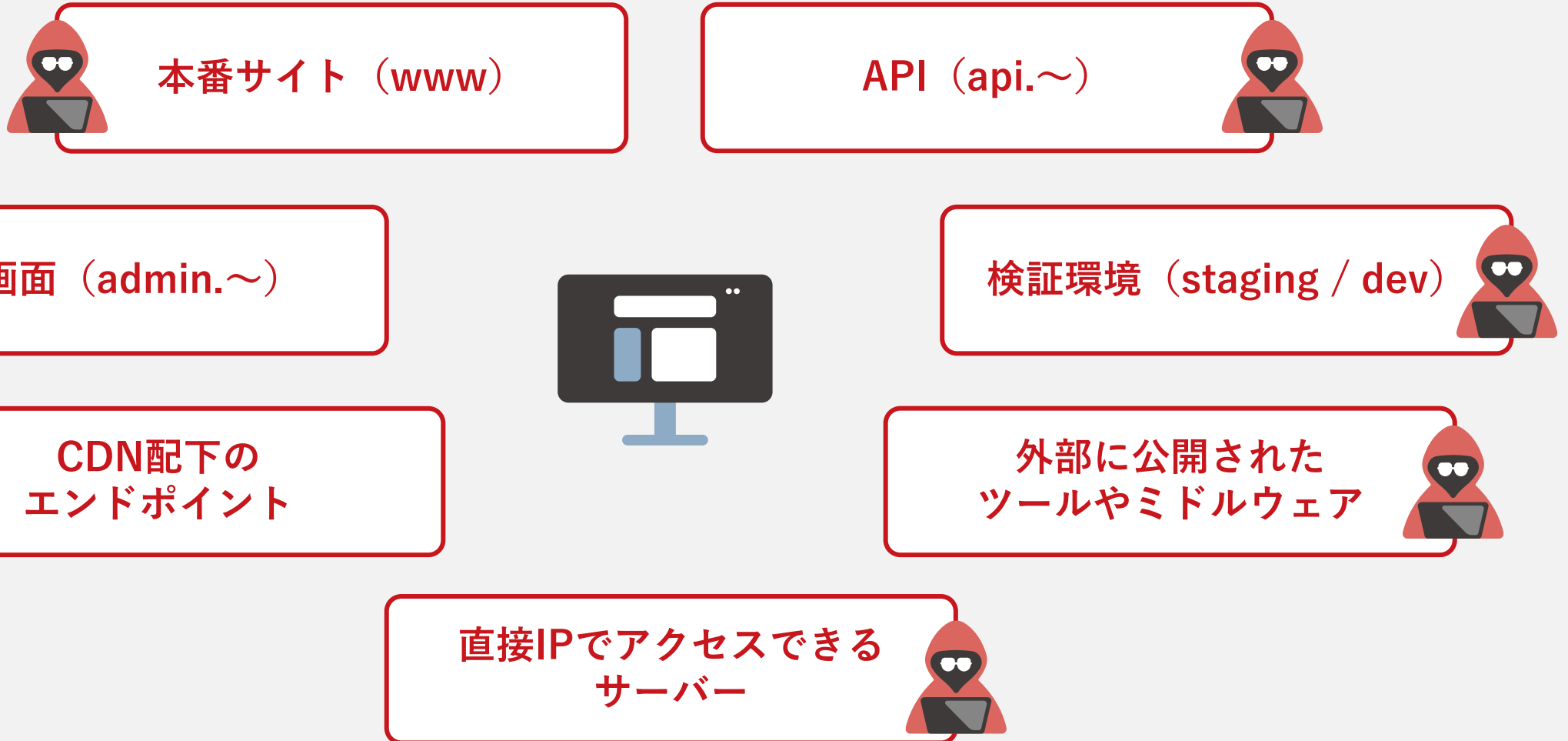
CDN配下のエンドポイント

外部に公開された
ツールやミドルウェア

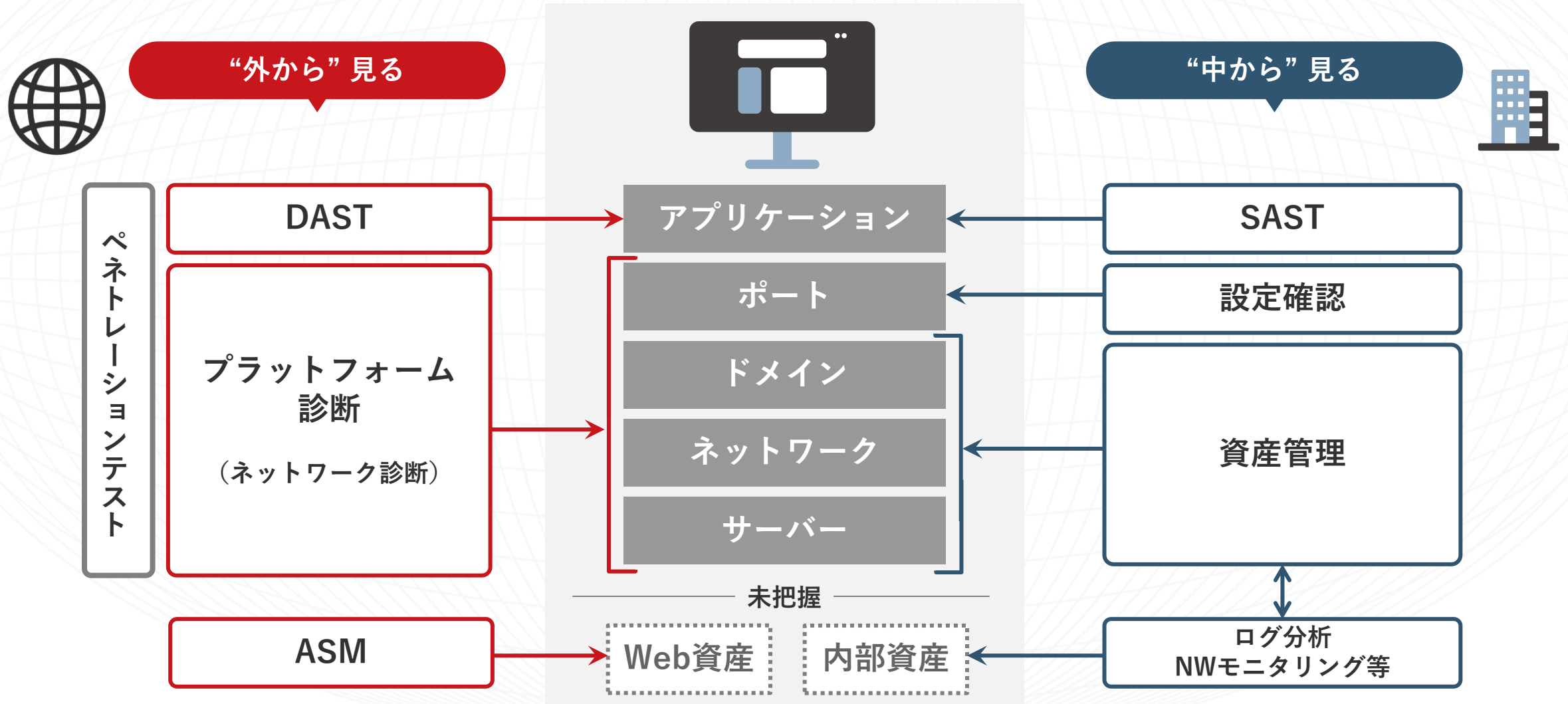
直接IPでアクセスできる
サーバー



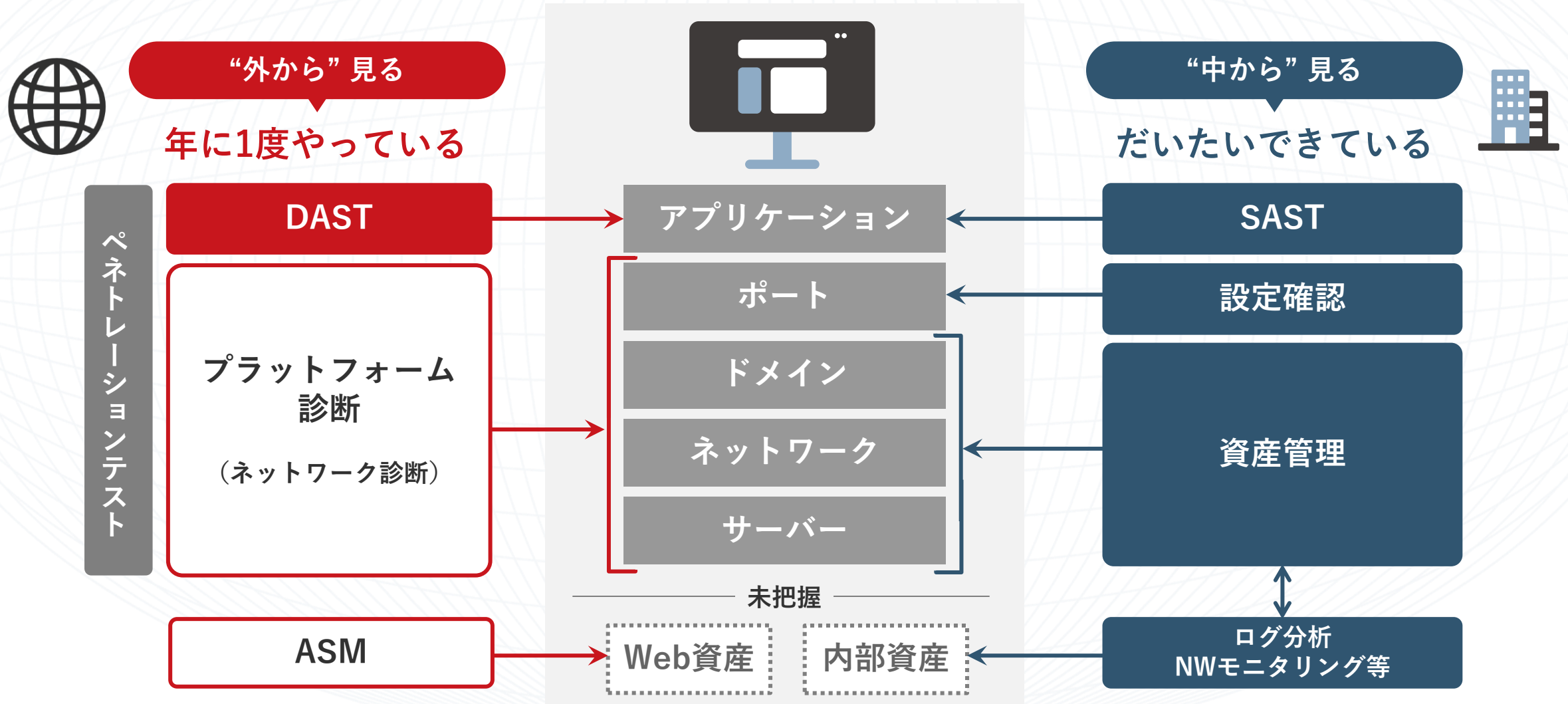
攻撃者も、すべての「顔」に穴がないか探してくる



すべての「顔」を網羅するための、主要な対策マッピング



既存の対策は、すべての「顔」を網羅できているか？



課題は「外から」の対策にある

加速する攻撃、増え続けるWeb資産。今、攻撃側と防御側の「格差」は広がり続けています。



攻撃側

防御側

24/365 vs 年に1度

攻撃スピードに対し
防御側の監視サイクルが
隙を与えてしまう



攻撃側

防御側

絨毯爆撃 vs 管理限界

管理台帳の外側に潜む
把握していない資産が
恰好の侵入経路に



攻撃側

防御側

自動化 vs 人力対応

Web資産の爆発的増加に
人力で対応していたら
到底、追いつかない



待てよ、**生成AI**とか使えないかな…？

高度な生成AI活用により、効率的かつ信頼性の高い探索が可能



生成AIをASMに活用することで…!

会社名だけ で攻撃面を探索

検索結果に上がってきた
組織名(文字列)を解読



膨大な情報源 から総合的に判定

- ✓ SSL証明書の情報
- ✓ IR情報(Web公開済み) など



発見経路/理由 が分かる

生成AIが攻撃面を見つけるまでに
辿ったルートの説明

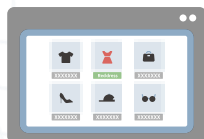


技術・ビジネス面での“重要度”と脆弱性の“深刻度”で優先度付け

Web資産の重要度

各Web資産の属性

(サイト用途、保持データなど)



製品情報サイト

重要度：中



ECサイト

クレジットカード
情報保持

重要度：高



ヘルプサイト

WordPress使用

重要度：低

リスクの深刻度

ミドルウェア・ライブラリや アプリの脆弱性

2件	→	ミドルウェアA	CVE-xx	深刻度：高
		ミドルウェアA	CVE-xx	深刻度：中
1件	→	ライブラリB	CVE-xx	深刻度：低
10件	→	ミドルウェアC	CVE-xx	深刻度：高
		ライブラリD	CVE-xx	深刻度：高
				:

生成AIを活用した

Webアプリ診断・プラットフォーム診断の内製化
AeyeScanにお任せください！



生成AI時代の脆弱性診断なら

AeyeScan



クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

国内市場シェア

No.1※



有償契約
300社以上

※ 富士キメラ総研調べ「2025 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」
Webアプリケーション脆弱性検査ツール ベンダーシェア（2024年度実績）

※ ITR調べ「ITR Market View：サイバー・セキュリティ対策市場2025」SaaS型
Webアプリケーション脆弱性管理市場：ベンダー別売上金額シェア（2024年度実績）

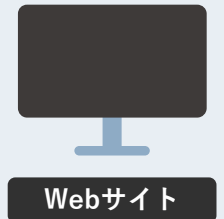


スキャン登録

結果レポート



自動診断



01

高精度なAI活用

巡回精度が高く
画面遷移図で見てわかりやすい

02

学習コストゼロ

開発やセキュリティの
知識がなくてもすぐに使える

03

業界標準対応

外部委託と遜色なく
内製化が可能

AeyeScanが選ばれている理由



誰でもかんたん操作



開発やセキュリティの知識がなくても、
トレーニングなしで診断可能。



AIによる自動診断



圧倒的な巡回精度で
24時間自動で診断。
画面遷移図で状況を可視化。

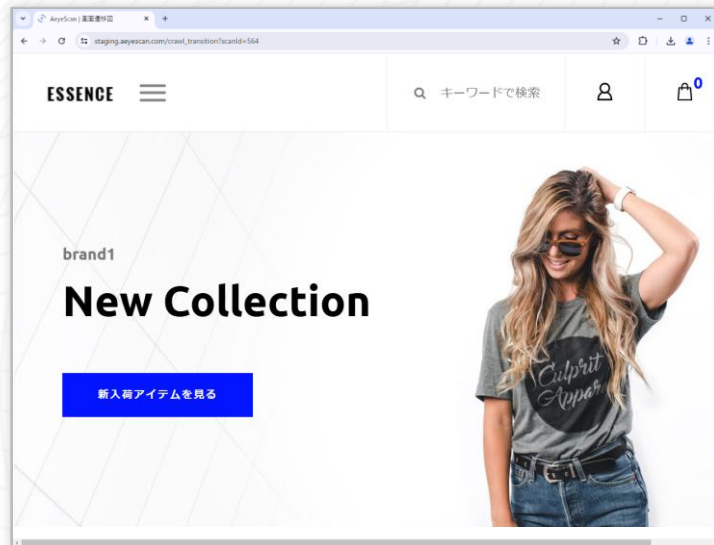


わかりやすいレポート



各種ガイドラインに準拠した
プロ仕様のレポート出力、
日本語と英語に対応。

巡回時に、自動で画面遷移図を生成



画面遷移図

画面数:82 (スキャン対象: 82) [ダウンロード](#) [全てを隠す](#) 凡例: ①

自動巡回

18533.Essence - トップページ

18534.Essence - トップページ

18535.Essence - トップページ

18536.Essence - 商品一覧

18545.Essence - 注文 (http://d.emosite1.aeyescan.work:333/3/checkout)

18546.Essence - 商品一覧

18547.Essence - 商品一覧

18615.Essence - 商品一覧

Status: Crawled

[Auto Fetch](#)

[Auto Chase](#)

[ヘルプ](#)

結果がわかりやすく、すぐさま修正作業に取り組めるレポート

AeyeScan

Web-ASM | スキャン一覧 | スキャンメニュー | 組織設定

スキャン一覧 > スキャン詳細 > スキャン結果(カテゴリ)

スキャン結果(カテゴリ)

● 会社概要アップデート (http://demosite1.aeyescan.work:3333/)

レポートダウンロード

Severity	Count
Critical	11
High	0
Medium	23
Low	1
Info	17

● OWASP TOP 10の結果

- > A1:2017-インジェクション: 11件
- > A2:2017-認証の不備: 1件
- > A3:2017-機微な情報の露出: 1件
- > A4:2017-XML 外部エンティティ参照(XXE): 1件
- > A5:2017-アクセス制御の不備: 0件
- > A6:2017-不適切なセキュリティ設定: 17件
- > A7:2017-クロスサイトスクリプティング(XSS): 18件
- > A8:2017-安全でないデシリアライゼーション: 1件
- > A9:2017-既知の脆弱性のあるコンポーネントの使用: 1件

ヘルプ

概要 | 脆弱性情報 | 詳細ログ | 再スキャン実行

クロスサイトスクリプティング

スキャン情報

81. 会社概要アップデート (http://demosite1.aeyescan.work:3333/)

対象ページ

1777.Essence - 新規登録 (確認) (http://demosite1.aeyescan.work:3333/register)

画面遷移図で表示

深刻度

Medium

CVSS: 5.1 (CVSS:4.0/AV:N/AC:L/AT:N/PR:N/UI:A/VC:L/VI:L/VA:N/SC:N/SI:N/SA:N)

スクリーンショット

The left screenshot shows a login page with fields for 'メールアドレス' (Email Address) and 'パスワード' (Password). The right screenshot shows a registration form with fields for '氏名' (Name), '性別' (Gender), '年齢' (Age), 'パスワード' (Password), '確認パスワード' (Confirm Password), 'メールアドレス' (Email Address), and '電話番号' (Phone Number). A blue arrow points from the 'パスワード' field in the login page to the 'パスワード' field in the registration form.

| AeyeScanが選ばれている理由

誰でも使える操作性

×

プロが認める機能・性能

さまざまな企業さまに導入いただいております

ユーザー企業

インフラ※



エンタメ



メディア



製造



金融



人材・教育



SaaS



SI・IT企業



セキュリティ企業



※公共および社会・生活基盤までを包含

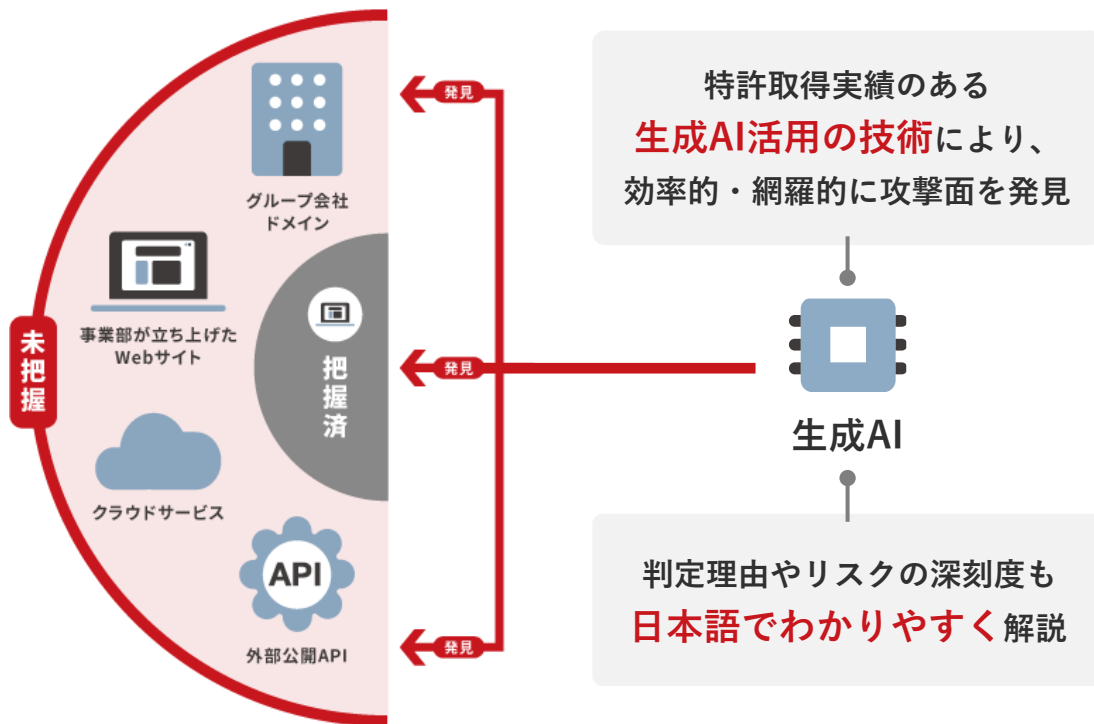
社名五十音順（導入いただいた企業様の一部です）会社名及びロゴは各社の商標または登録商標です

生成AI活用で、工数をかけずにWeb-ASMを実現

オプション機能

Web-ASMとは？

把握していないWeb資産（攻撃面）の継続的な発見・リスク評価



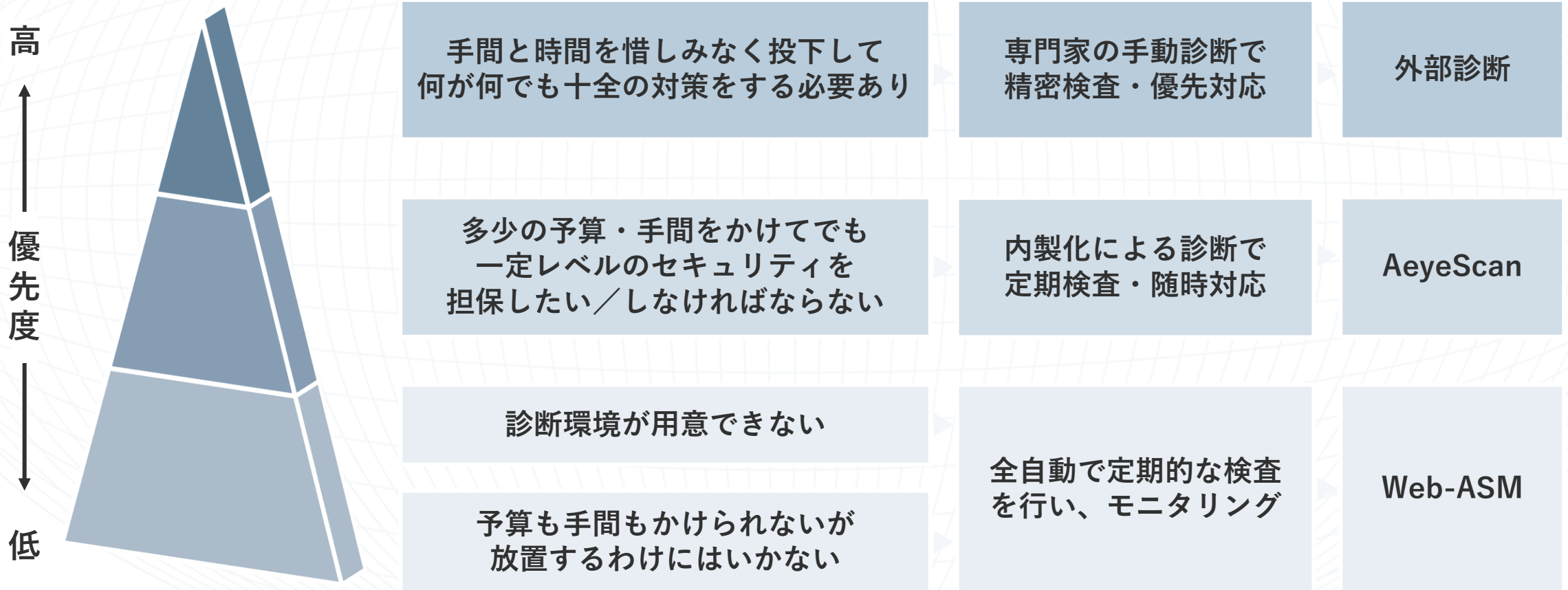
Web-ASMの実施ステップ



AeyeScan Web-ASM機能が、これらの作業を自動化

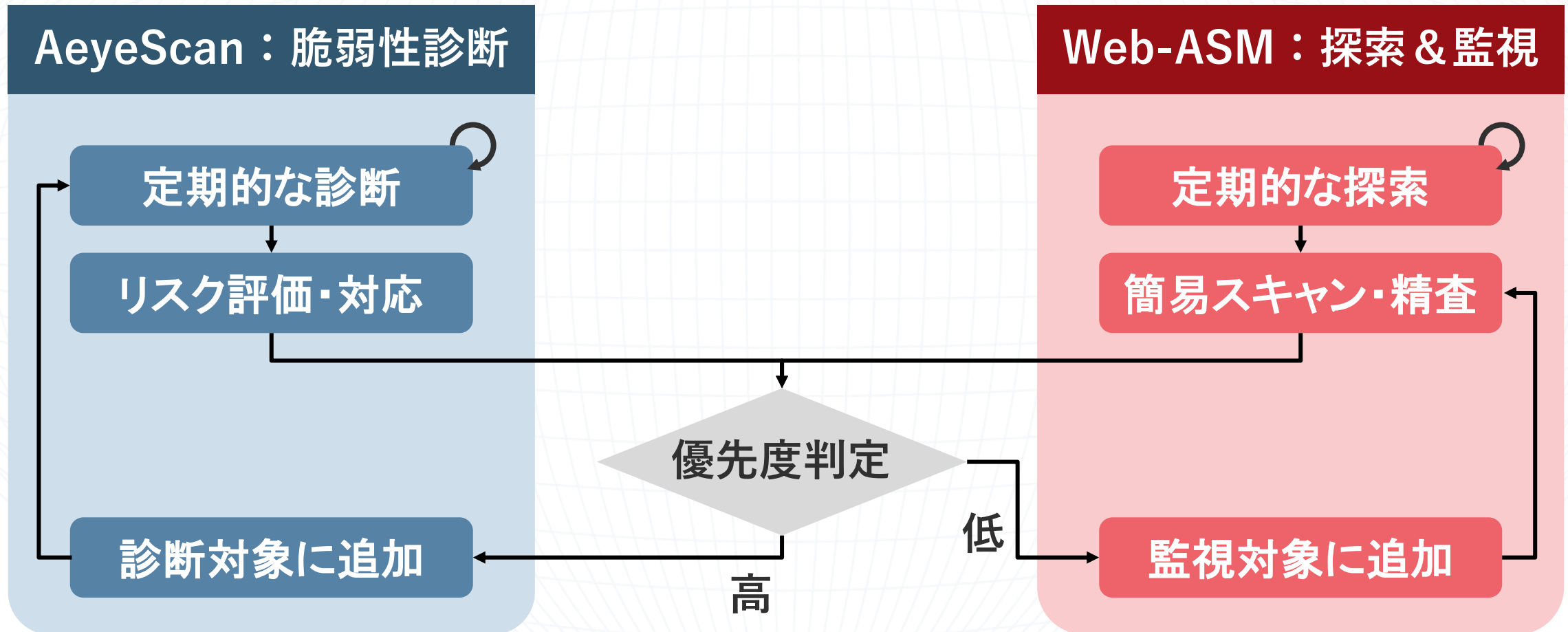
運用例

| 資産の優先度・診断の優先度に応じた、対策の棲み分け



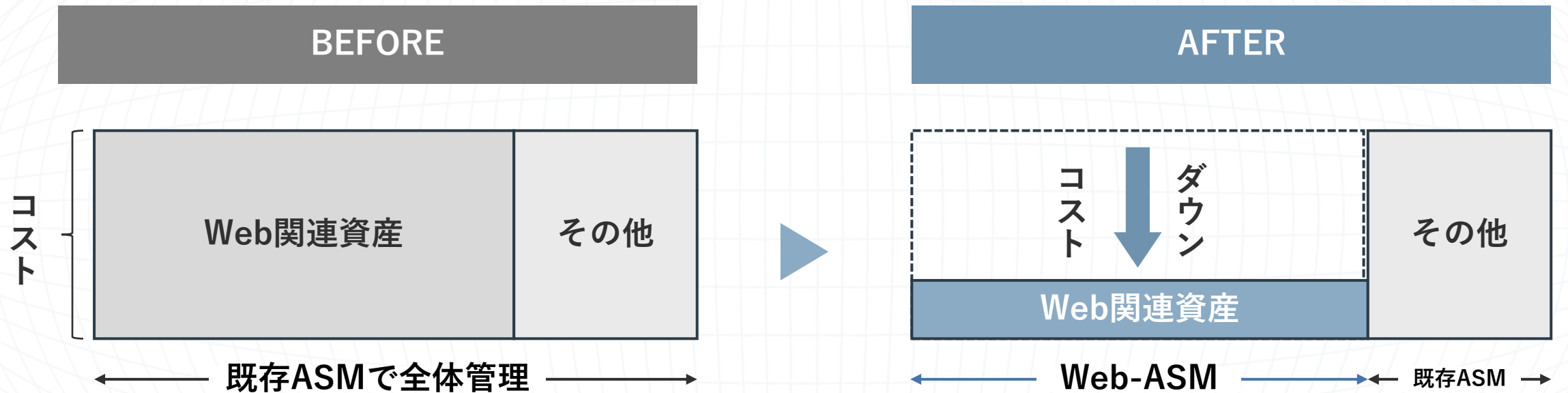
運用例

脆弱性診断(AeyeScan)と探索・監視(Web-ASM)の“二刀流”



運用例

| 利用中のASMサービス(製品)との棲み分け



- インフラからWebまで全体を一元管理
- △ 管理・登録資産数に応じた**従量課金**
 ➔ Web資産が増えるほどコストが膨大に

- △ 「餅は餅屋」方式で2つのツールを併用
- Web資産の探索・監視・管理が**固定費化**
 ➔ 増えるWeb資産を網羅的に管理しやすい

2026年7月リリース予定

資産の探索から「プラットフォーム診断」まで

NEW

探索・発見

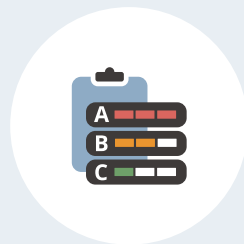
自社に紐づくと思われる
Web資産を、生成AIが探索



ドメイン・Webサイト等の
発見経路／判定理由も説明
→ブラックボックス化を防止

精査・評価

資産情報の収集、資産の精査
リスク評価・優先度付を支援



CVSS/EPSS/KEV等の指標
+ビジネス観点の重要度
→多角的な精査・評価を楽に

検査・監視

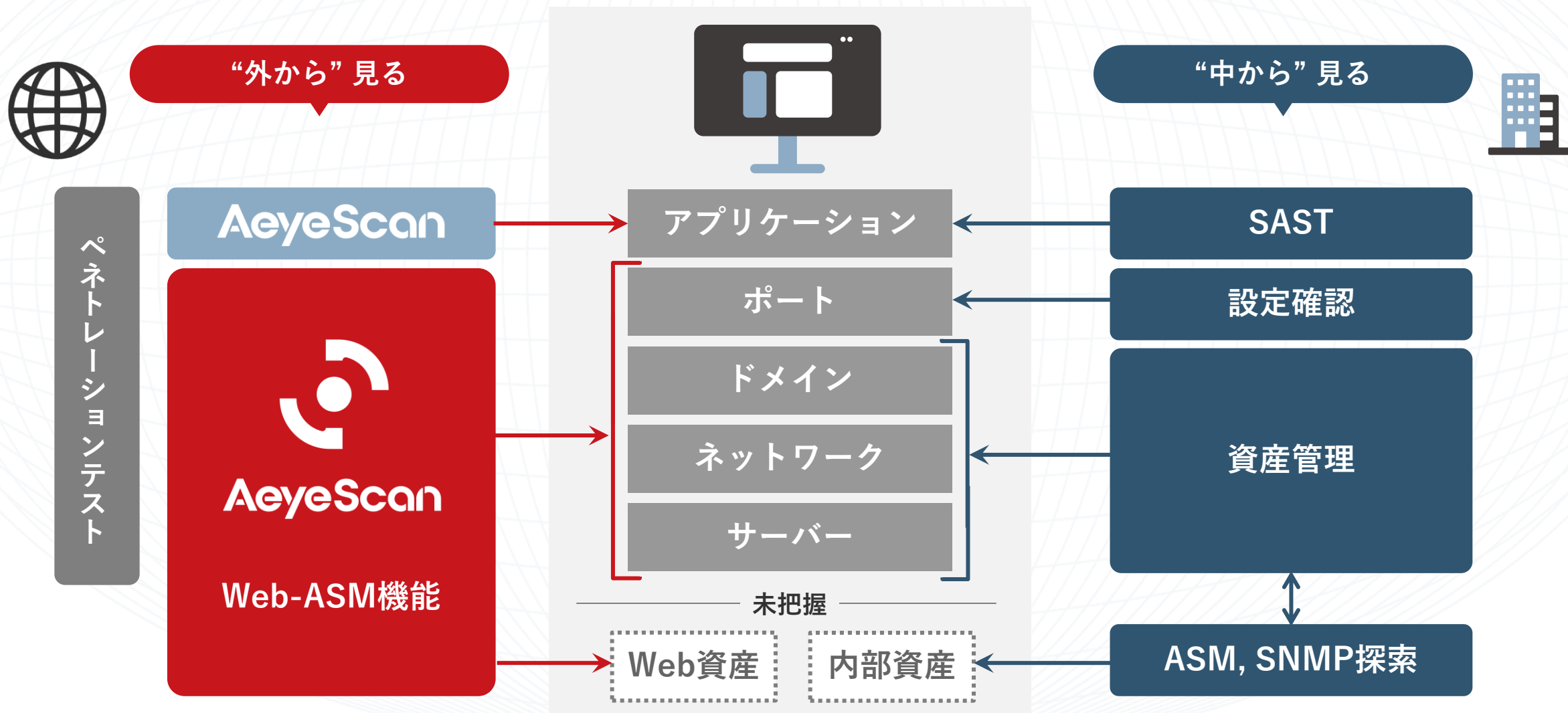
プラットフォーム ネットワーク

PF診断やNW診断を含む
自社資産の定期的なスキャン



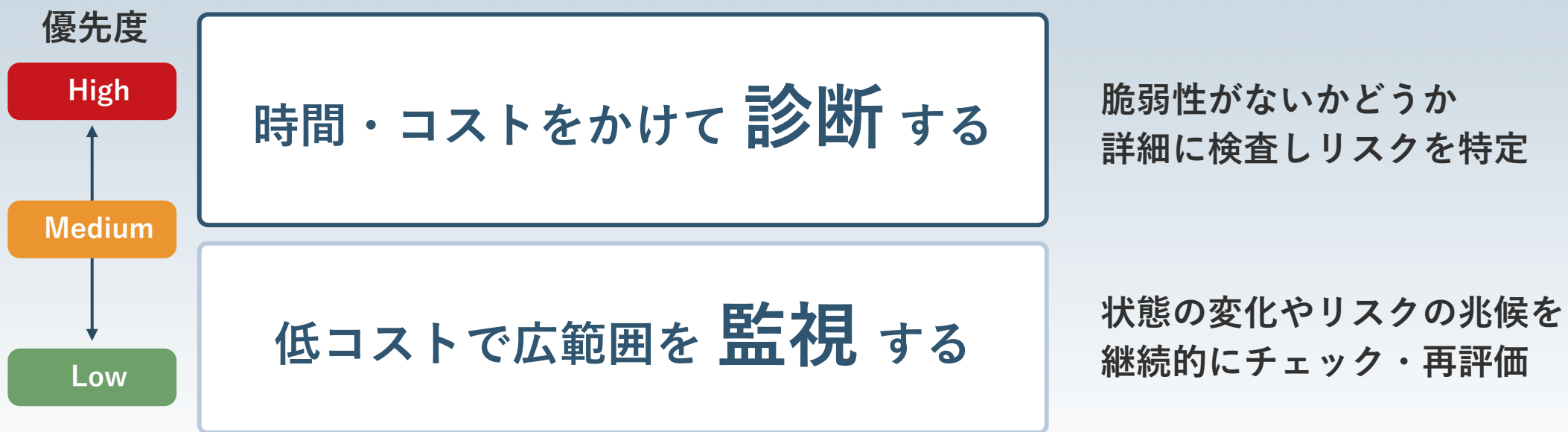
ポートスキャン/NWスキャン
での潜在的リスクチェック
→全資産のモニタリングも

| AeyeScanは、外から見る「セキュリティ診断」を網羅します



まとめ

生成AI活用で、攻撃される可能性のある資産を“もれなく”メンテナンス



AeyeScanの導入を検討してみませんか？

操作性の確認、実際に利用してみたい方へ

AeyeScan の 無料トライアル

トライアルにかかる費用は不要。実際の操作性はどうか？
またどのように脆弱性が発見されるのか？
などの疑問は無料トライアルで解消しましょう。

無料トライアルの申し込み



お見積りの希望・導入をご検討している方へ

AeyeScan への お問い合わせ

お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は
お問い合わせフォームよりご連絡ください。
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム



各種セミナーも開催中

AeyeScanをもっと知りたい方向け

＼診断ツールの違いを知り、AeyeScanを体験／

6/17 水 オンライン@Zoom

6/25 木 オンライン@Zoom

6/26 金 神田スクエア

詳細・お申し込みはこちら



PF診断に関心を持った

機能拡張 プラットフォーム診断も、これ一本!

AeyeScanで実現する 抜け目ない 診断体制

2026 7.28 LIVE リアルタイム配信
火 16:00-16:30

アーカイブ配信
8.6 木 8:00
- 8.7 金 22:00

阿部 一真 | 株式会社エーアイセキュリティラボ 事業企画部ディレクター

AeyeSecurityLab

詳細・お申し込みはこちら





AeyeScan

セキュリティに、確かな答えを。